

(様式1)

## 令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
高志の国文学館 文化振興室文化政策課

2 施設所在地  
富山市舟橋南町2番22号

3 施設設置年度  
平成24 年度

4 設置目的  
富山県の自然及び風土の中ではぐくまれた文学作品その他の文学関係資料を紹介し、文学に関する県民の知識を深め、教養の向上を図るとともに、県民自らが親しみ、学び、創造し、交流することができるよう、県民に文学を中心とする文化活動の場を提供し、もって教育、学術及び文化の振興並びに心豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とする。

5 施設概要

【建物構造】  
地上2階 RC構造、一部SRC、S構造  
・建築面積 2,738㎡  
・延床面積 3,070㎡  
・敷地面積 13,729㎡

【主な施設】  
・常設展示434.33㎡ ・企画展示237.08㎡  
・ライブラリーコーナー165.05㎡ ・親子スペース51.95㎡  
・普通収蔵庫 ・特別収蔵庫 ・研修室(5室)、和室(1室)[貸室]

【開館】  
平成24年7月6日

6 指定管理者  
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間  
5 年  
令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日

### 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R1	R2	R3	R4	R5
116,548	62,154	58,868	70,089	94,210

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R1	R2	R3	R4	R5
15,454	6,272	6,466	8,162	9,545

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R1	R2	R3	R4	R5
-	-	-	-	-

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和5年4月に着任した室井館長の企画イベントが多く開催され、利用者数及び収入額ともにコロナ禍以前の実績に近づいてきた。引き続き魅力ある企画展、利用便利な研修室をPRして収入増加を図るとともに話題性のある企画イベントを開催して来館者増加に努めてほしい。

### (2) サービス向上に向けた取り組み

- ・周辺道路や駐車場の混雑渋滞を緩和するため平成26年度から年間を通じ、富山県教育文化会館と連携して誘導整理員を配置している。また、冬期に共同で機械除雪業者を手配し、一帯の駐車場確保に努めている。
- ・平成24年度から高齢者や体が不自由な方への介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンダント資格者を配置し、接客に当たっている。
- ・平成24年度からミュージアムショップで、イベント事業や文学講座に関連した商品をリサーチし、品揃えの充実を図っている。
- ・ライブラリーに富山県の観光情報誌やイベント案内、新聞・各種雑誌を配置するとともに、平成25年度から煎れ立てのコーヒーを販売しているが、令和5年度から新たにカフェラテもメニューに加え、庭園を眺めながらくつろげる空間を提供している。
- ・平成29年度からの観覧料等のクレジットカード・電子マネー決済対応に加え、令和2年度からPayPayやLINEPayなどの二次元コード決済に対応している。
- ・高志の国文学館友の会や県が主催するイベントの開催において、イベント会場設営や運営に協力し、来場された方々の満足度向上に努めている。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取り組み

- ・アンケートや研修室利用者からの直接の聞き取りにより、利用者の意見をこまめに把握し、施設運営に反映している。
- ・平成26年度から研修室の利用抽選会を実施し、文化団体が計画的に定期利用できるよう配慮している。
- ・平成27年度から「絵本読み聞かせ会」を月1回開催し、親子での来館促進と親子スペースの賑わいづくりに取り組んでいる。
- ・令和2年度から開催している短歌、俳句、詩、小説など北陸を拠点に活動している個人・団体の文芸同人誌を一堂に集め紹介する「同人誌プチマルシェ」を、令和5年度はエリアを拡大して開催した。
- ・令和5年度は、利用促進のため県等が企画した「富山で休もう。とやま観光キャンペーン[第2弾]」「富山県マイナンバーカード利活用を推進するための事業」「まちなかぐるっとアートチケット」「北陸3県2Dayパス」事業に協力した。
- ・未就学児童を対象として朗読、バルーンアート、音楽、歌を取り入れた「親子で一緒に楽しむArt&Tone」公演を開催して幅広い世代の方々も楽しんでもらえる事業を実施した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：展示部門＝アンケート用紙を配布 研修室（貸出）部門＝アンケート用紙を配布
回答者数	回答者数：展示部門 466名 研修室（貸出）部門617名
結果	施設の環境/ 良い以上 【展示部門】83%【研修室部門】98%

結果を踏まえた改善事項	車椅子の設置場所が判らないとのことから誰もが目に付く場所へ設置場所を変更した。
-------------	-----------------------------------------

②その他利用者の声を反映させる取組み

- ・アンケートの結果や利用者から直接要望を受ける監視員や受付スタッフからの報告内容を取りまとめ、全職員で情報を共有している。利用者からの意見又は提案について、改善又は反映方針を協議し、適切に対応している。
- ・上記で改善が図られた内容を盛り込みながら、監視員用接遇マニュアルを適宜更新し、スタッフのレベル向上に努めている。

③主な苦情と対応

苦情なし

(5) 個人情報保護の取組み

研修室の利用申請や団体見学予約の手続き、イベント参加に係る個人情報の取り扱いについて、財団個人情報保護規程に基づき、適切に管理している。

(6) 関係団体との連携

- ・県内美術館・博物館及び公立文化施設と連携して、広報（情報発信、郵送）やロビーコンサートを開催するなど、ネットワークを活用した運営を図り利用促進・活性化に努めている。

(7) 施設・設備の維持管理

専門業者による保守点検のほか、職員による自主点検を実施するなど適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・職員のほか、委託業務従事者（清掃、警備）を含め、自衛消防隊を編成し、年1回の総合防災訓練を実施している。
- ・非常災害時のマニュアルや緊急連絡表の配備や、富山市消防署査察課による立入検査に等対応し、消防設備の（法令）点検を行っている。
- ・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症分類の5類引き下げに伴い、これまで協力依頼していた来館時の検温・手指消毒及び人との距離の確保について、来館者個人の判断とした。なお、空調の外気取込量の増加などの換気及び不特定多数の方が触れる場所のアルコール消毒は継続した。
- ・富山・金沢教育大臣会合（G7）エクスカージョン会場に指定されたため県警本部と連携しサイバーテロも視野に入れた安全対策に取り組んだ。

10 所管課の管理運営確認状況

	有／無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	1
③個人情報に関するトラブルの有無	無	0
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	0

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・開館して11年を迎え24時間稼働している空調や設備(展示・電灯)機器等の故障も多く見られるようになってきている。利用者の安全面と快適性を第一に考慮して修繕等の対応に取り組んでもらいたい。
- ・県と連携し、室井滋館長の運営方針に沿いながら施設の魅力向上と情報の発信に努めるとともに、小さな子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々に足を運んでもらえるような利用促進イベント等を企画し、施設の更なる活性化に取り組んでもらいたい。